

科目名称	リハビリテーション医学	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	1	30
担当教員	山下 淳一 他	授業に関わる 実務経験	☒ 有（理学療法士） ☐ 無	

【1】授業概要

多職種が連携したリハビリテーション看護を実践するために、PT・OT・STの役割について理解する。

【2】学習目標

1. 講義や実技を通して、疾患別のリハビリテーションや疾患特融の症状に対応したリハビリテーションについて理解する。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- ☒ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- ☐ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☐ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- ☒ 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	総論	講義
2	運動器疾患の理学療法①	講義・演習
3	運動器疾患の理学療法②	講義・演習
4	脳血管疾患の理学療法	講義・演習
5	呼吸器疾患のリハビリテーション	講義
6	循環器疾患のリハビリテーション	講義
7	がん疾患のリハビリテーション	講義
8	災害時のリハビリテーション	講義
9	作業療法概論	講義・演習
10	ADL向上のための支援①	講義・演習
11	ADL向上のための支援②	講義・演習
12	コミュニケーション障害のリハビリテーション	講義・演習
13	高次脳機能障害のリハビリテーション	講義・演習
14	摂食・嚥下障害のリハビリテーション	講義・演習
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

1. 筆記試験、授業への取り組み(学内実習)を含めた総合評価を行う。

【6】教科書

特に指定なし

講義はパワーポイントを使用する。

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ

講義の内容により、担当講師が変わります。

リハビリテーションと言っても、疾患や症状によって様々な方法があります。また、リハビリテーションの効果を高められるか否かは、知識と技術によります。さあ、正しい知識・技術を一緒に学びましょう。